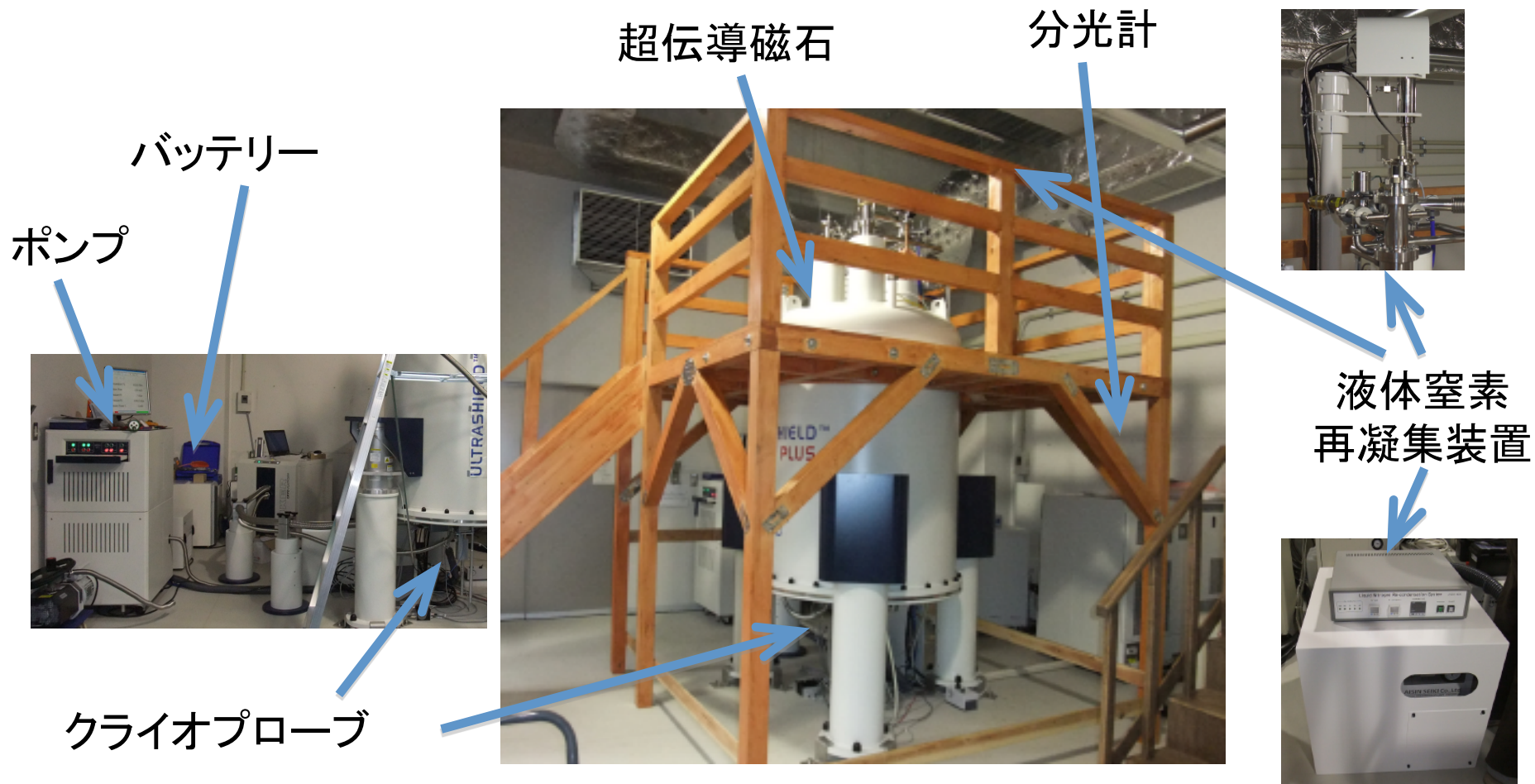


NMR測定ベーシックコース

- 目的: 当センターに設置してある核磁気共鳴分光装置(NMR)を利用し、高磁場NMRの測定方法、有機化合物の構造解析、および、タンパク質のNMR測定・解析方法を習得する。
- 内容:
 - 1. NMRの基礎、何がわかるか?(講義)
 - 2,3. 測定に必要な基礎的な知識と簡単なNMR測定(講義+実習)
 - 4. 構造未知な有機化合物のNMRの測定(実習)
 - 5. NMRデータに基づく有機化合物の構造決定(実習)
 - 6. タンパク質のNMR測定の基礎的な知識、何がわかるか?(講義)
 - 7,8. タンパク質のNMR測定 - サンプル調製と測定(実習)
- 対象: 原則、研究室に配属されている学生。
- 定員: 5名
- 講義期間: 2012年5月17日 – 7月19日
- 場所: 医学本館7階セミナー室、医学部本館8階NMR室及び、生命科学棟1階NMR室。
- 担当者: 鎌足雄司(1-3,6-8回担当)、犬塚俊康(4,5回担当)

医学施設の装置の一番の売り物 - 世界と競争できる最先端の装置

800MHz NMR



- 特徴は、**高分解能、高感度**

超高磁場高感度NMRが必要な例

- 高分子量のため信号の数が多い。
 - サンプルの量が少ない。
 - 溶解度が小さい。
 - サンプルが不安定のためできるだけ短時間での測定が必要。
 - 反応を追跡したい。
- 、、、など。

生物系の
サンプル
はほとんど
すべてがこ
れに該当
する。